

高能率切削・スラッジ除去

ユーベック、濾過システム開発

【名古屋】ユーベック(名古屋市中種区、植田修司社長、052・761・2728)は、高能率切削加工と洗浄レベルのスラッジ除去を

両立できる濾過システムを開発した。工具破損原因の摩擦熱が蓄積しにくいため工具寿命が従来比2倍以上に延びるといふ。後工程の



洗浄がほぼ脱脂のみで、簡素化できる。価格は500万円(消費税抜き)から。自動車部品メーカーなどに年間10システムの販売を目指す。クーラント液の吐出実験

に時速200キ以上取り去るフィルタを通過したクーラント液のみを、7メがの流す。精密濾過装置は円筒状カートリッジフィルタ方式で処理能力は毎分50リ。20リ(マイクロは100万分の1)以上のスラッジを取り去る。ユーベックの実証では、ステンレスやチタンなどの難削材加工で工具寿命が2倍以上延びた。従来は切削加工後の洗浄工程でスラッジ除去と脱脂を行うのが一般的で洗浄システムが複雑だった。複雑形状の加工品が増えておりスラッジを除去しきれない例もあった。

小型化、狭所計測が可能

ヴァイサラ 極細湿温プローブ

ヴァイサラ(東京都千代田区、ヴェリ・ソレフマイネン社長、03・5259・5960)は、工業用途の極細湿度温度プローブ「HMP911写真」を発売した。プローブへ

下の70秒と速くなった。半導体の製造工程やチャンバーなどでの使用を想定。本体価格18万5000円(消費税抜き)。同製品は露点温度や湿球温度、混合比、水

